

福島第一原子力発電所 6号機 燃料プール冷却浄化系の弁から水漏れについて

平成26年7月17日
東京電力株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所



東京電力

福島第一原子力発電所における6号機燃料プール冷却 浄化系の弁から水漏れについて

(概要)

7月11日15時30分頃、6号機原子炉建屋6階の燃料プール冷却浄化系の弁付近において、水が漏れていることを使用済燃料プール冷却の復旧作業にあっていた当社社員が発見。漏えい範囲は約1m×約0.5m×深さ約1mm。弁の漏えい状況を確認するため同系統を再起動したところ、異常がなかったことから使用済燃料プールの冷却運転を継続中。

(時系列)

平成26年7月11日

- 10:18 燃料プール冷却浄化系(A)ポンプ停止。
- 10:47 燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)起動。(原子炉ウェル水抜きのための起動)
- 14:29 燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)停止。
- 15:30頃 原子炉ウェル水抜き作業が終了したことから当該弁を「開」操作しようとした際に水たまりを発見。状況確認のため当該弁を微開にしたところ、水たまりの表面がゆらいたことから、当該弁からの漏えいと判断して全閉。
- 19:13 確認運転のため燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)を起動。(F042B閉、F042A開)
- 19:40 当該弁及び系統から漏えいなど異常がないことを確認したことから、**使用済燃料プール冷却運転を継続。**
- 23:00 水中ポンプを設置。

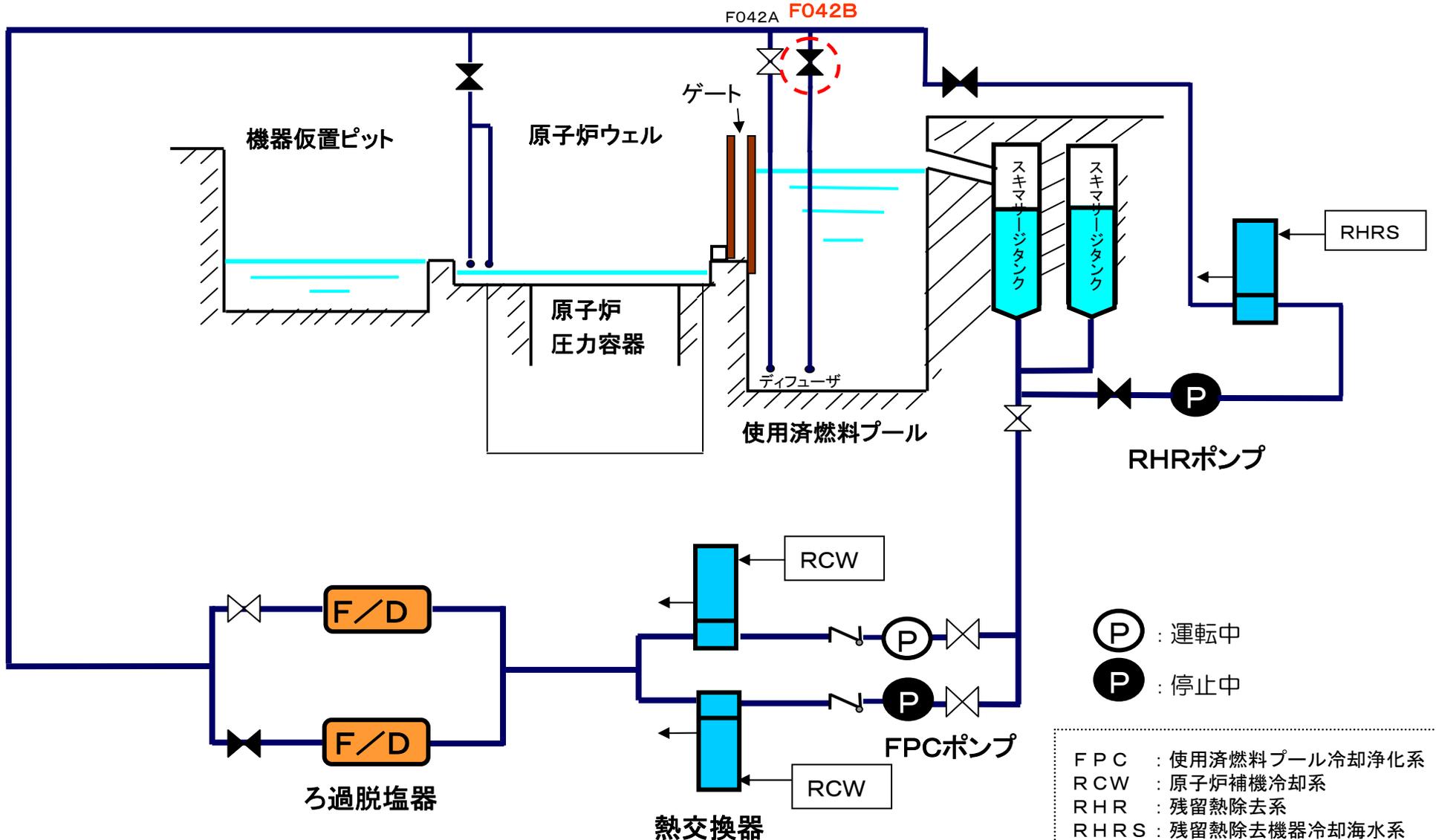
7月12日

- ・当該弁下部周辺の床面のはつり作業を実施。
- ・当該弁が設置されているピット内にWEBカメラを設置。

(今後の予定)

当該弁下部床面のはつり作業を実施し、漏えい状況を確認したところ、現状は漏えいは発生していないものの、漏えい部と考えられる部位の点検、補修を早期に実施すべく検討中であるが、点検の際は同系統の停止、使用済み燃料プールの水位調整などが必要となることから事前検討を充分に行い進めることとする。

福島第一原子力発電所6号機 使用済燃料プール冷却浄化系 概略図



プール水温 : 23.6度 7月14日 11時時点



使用済燃料プール冷却浄化系
当該弁（F042B）漏えい状況



当該弁（F042B）下部の状況

撮影日：平成26年7月11日

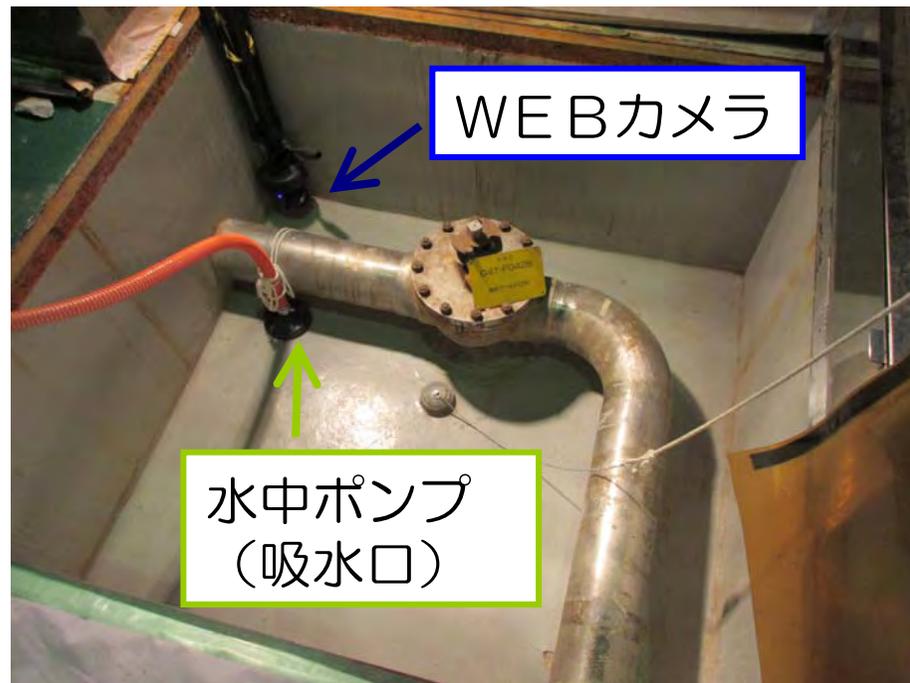
提 供：東京電力株式会社



当該弁（F042B）下部の床面はつり
状況

撮影日：平成26年7月14日

提供：東京電力株式会社



WEBカメラと水中ポンプ（吸水口）
の設置状況

撮影日：平成26年7月12日

提供：東京電力株式会社